

令和 7 年度台東区総合防災訓練の実施結果について

1 実施内容

- (1) 訓練想定 都心南部を震源とする直下地震が発生（台東区震度 6 強）
 (2) 訓練日時 令和 7 年 1 月 2 9 日（土）

第 1 部	8 時 3 0 分 ～ 1 2 時 3 0 分	休日閉庁時間に発災 ⇒ 直後の応急対応訓練 （災害応急対策本部、避難所、関係機関等）
第 2 部	1 3 時 0 0 分 ～ 1 7 時 0 0 分	平日開庁時間に発災 ⇒ 直後から 6 時間後までの応急 対応訓練（災対福祉部、災対環境清掃部、災対教育委員会）

- (3) 訓練場所 台東区役所、生涯学習センター、松が谷福祉会館、台東清掃事務所、
 避難所（4 か所）、公園など仮想災害現場
 (4) 参加人員 3 0 1 人
 （内訳）区民（避難所運営委員会） 8 5 人
 消防、介護事業者、葬祭事業者等（1 5 団体） 4 7 人
 区職員 1 6 9 人

2 主な訓練成果と課題

(1) 第 1 部

① 関係機関との情報連携訓練

成果 消防、自衛隊、N T T からの連絡員の受け入れを通じて、実践的な連携体制を確認するとともに、顔の見える関係の構築につながった。

課題 区・関係機関ともに、必要とする情報を都度相手に提供してもらう体制をとったが、情報連携をより円滑に行うため、区と関係機関での共有が必要となる情報項目を事前にリストアップしておく必要がある。

(2) 第 2 部

① 災対福祉部による応急対応訓練

内容 避難行動要支援者の安否確認

成果 避難行動要支援者システムを活用した安否確認報告について、介護事業者との連携を含めて、一連の流れと留意点を確認することができた。

課題 訓練の際は、安否確認の状況を介護事業者から、区へ電話で報告してもらう体制をとったが、報告内容の伝達に時間を要したことから、時間を短縮するための方法を検討する必要がある。

内容 遺体収容所開設・運営訓練

成果 警察・葬祭事業者の協力のもと、遺体収容所のレイアウト作成のほか、遺体受付から遺族への遺体引渡しまでの一連の流れと留意点を確認することができた。

課題 区・警察・葬祭事業者間で遺体の取扱い方法について認識に違いがみられたことから、事前に協議を進めておく必要がある。

② 災対環境清掃部による応急対応訓練

内容 災害廃棄物処理計画に基づく対応

成果 災害廃棄物処理計画に基づき、ごみ量の推計から災害廃棄物仮置場の決定までのプロセスについて、仮置場候補地となる公園の現地調査を含めて訓練を実施したことにより、一連の流れと留意点を確認することができた。

課題 災害情報システムを活用した仮置場の情報管理や現地調査員との情報連携について、情報の共有方法が統一されていなかったため、マニュアルを整備し、周知していく必要がある。

③ 災対教育委員会による応急対応訓練

内容 教育施設の被害状況収集

成果 災害情報システムを活用した教育施設の被害状況収集や情報整理の方法を確認することができたほか、施設利用者の対応についても検討を深めることができた。

課題 災害発生時の応急対応として、学校・保育園等からの情報収集及び区民からの問合せ対応を効率的に行うため、災害時職員行動マニュアルの中で、各課の役割分担をより明確にしていく必要がある。



▲ 災対福祉部の様子



▲ 災対教育委員会の様子

3 令和8年度の方針

避難所運営キットを活用した避難所運営訓練と関係機関と連携した本部訓練を引き続き実施する。新たな取り組みとして、避難所、二次避難所、一時滞在（帰宅困難者）施設の開設・運営訓練と連携させながら、各施設への物資輸送を想定した物資管理・輸送訓練を実施するなど、災対各部の災害対応訓練を実施し、更なる連携体制及び初動体制の強化を図っていく。